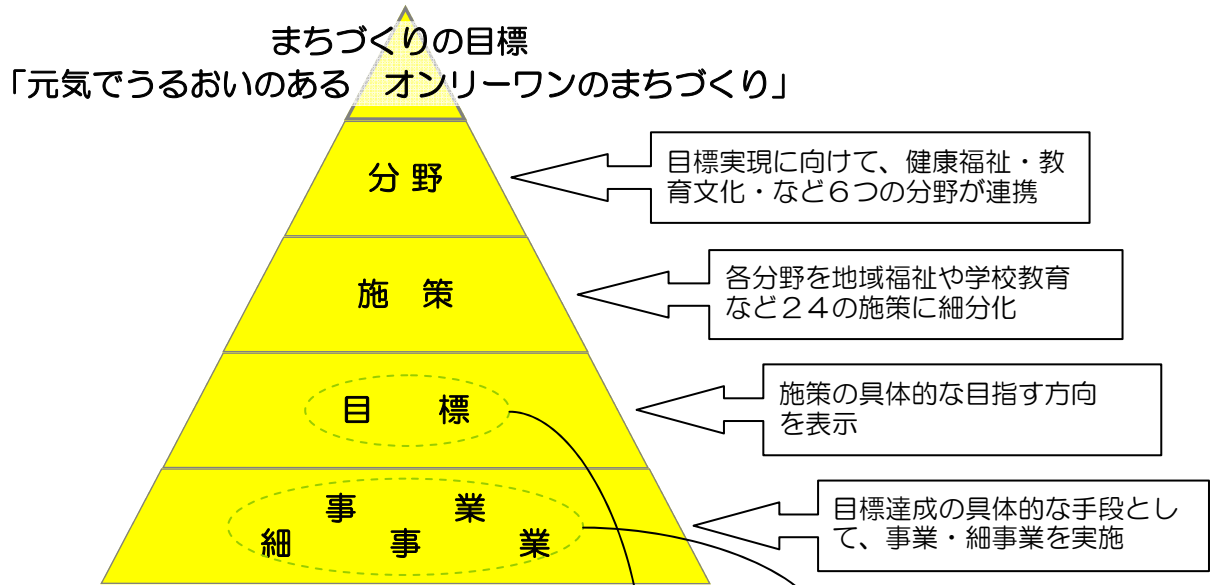


1. 行政サービス成果篇の見方について

○第4次川西市総合計画後期基本計画の政策構造 「笑顔・ときめき川西プラン」



行政サービス成果表目次

分野	施策	目標	目標別 評価頁	事業名	事業別 評価頁	決算 書頁
快適安全	生活安全	消費者のトラブルを防ぎます。	319	消費生活相談事業	416	310
				消費者啓発事業	418	310
		犯罪を減らします。	320	計量・表示適正化推進事業	420	312
				生活安全事業	422	146
産業活力	産業	商工業を振興します。	426	商工振興事業	432	306
				中小企業支援事業	434	306
				中心市街地活性化推進事業	436	308
				定額給付金給付事業	438	318

※事業のうち、行政内部の管理関係事業については、掲載していないものがあります。

○各頁のコスト表示について

職員人件費は平均人件費×職員数で算出しています。

(一般会計における平均人件費：職員9,325千円、再任用職員3,987千円)

なお、この平均人件費には、職員共済組合負担金と、退職手当組合負担金を含めて算出しています。

公債費は、元金及び利子を各事業別に分類計上しています。

○各頁の事業の評価について

この評価の目的は、評価過程において、事業の課題を掘り起こし、明らかにすることで、次年度以降の業務改善に繋げようとするものです。

評価は、各事業を所管する部長が、次の3つの視点から行い、それらの合計点が、9・8点の場合は「A」、7・6点の場合は「B」、5～3点の場合は「C」としています。

妥当性・・・事業が、市民ニーズや施策目的に照らして、どの程度の妥当性を有しているか。
また、行政が担う必要があるか。

効率性・・・事業成果に対して、より少ないコスト（ヒト、物、金、時間）で達成できたか。

有効性・・・事業目的達成に向けて、事業成果は有効であったか。